

2023年6月 昭和鯉城会会報 110号

# 昭和のよう会便り



# 令和5年度昭和鯉城会総会開催さる

令和5年4月22日（土）、昭和区役所講堂に於いて、会員の約半数が出席して昭和鯉城会総会を開催しました。

平成31年4月開催を最後に、コロナ禍により3年間開催出来なかったのも、久しぶりの開催でしたが滞りなく進行しました。この間、新規加入者が少なく（鯉城学園が2年間休校）、189名いた会員も高齢等による自然減もあり、本年度当初会員数108名からのスタートとなりました。

最初に、ご来賓の藤井昭和区長、不破昭和区社会福祉協議会事務局長、大谷鯉城学園地域活動指導員の方々より、期待と励ましの籠った温かいご祝辞をいただきました。

総会は小川会長が議長を務め、令和4年度事業報告、会計報告、監査報告が行われた後、会則の一部改正、新役員の提案が行われ、満場一致で承認されました。

引き続き、新役員の紹介が行われ、新任の高島会長が、「新役員と共に、会員の健康と安全を第一に会を運営していきたい」と所信表明を行いました。引き続き、令和5年度事業計画、予算の提案を行い、満場一致で承認された後、新役員と、34期生の新入会員2名が自己紹介を行い、閉会となりました。



御来賓左より藤井昭和区長、不破昭和区社会福祉協議会事務局長、大谷鯉城学園地域活動指導員



議事進行状況



新役員紹介

閉会後は、学区毎のグループに分かれ学区連絡会を行い、コミュニケーション向上を図りました。

最後に、アトラクションとして、オカリナクラブ&同好会がオカリナ演奏を、片岡晴彦氏がマジックを、民謡同好会が民謡を舞台上で演じられ、大好評でした。

## 【アトラクション】



オカリナ演奏



マジック



民謡

## 昭和鯨城会新会長就任挨拶

32期(生活B) 広路 高島 善行

今回、第32代(令和5年度)昭和鯨城会会長に就任いたしました。

令和2年度から3年間総務委員長を務めてまいりましたが、令和2年1月に国内で新型コロナウイルスが初めて確認されて以来、コロナ禍により、昭和鯨城会行事等縮小して行ってきました。ようやく今年度に入り、総会も久しぶりに開催でき、徐々にコロナ禍前の様相に戻りつつあります。ただ、その間に鯨城学園の休校もあり、新入会員が殆ど入会しなかったこともあり、鯨城会の運営を担う総務、行事、広報、ボランティア委員会のメンバーは3年間顔ぶれは殆ど変わりませんでした。今年度も新規入会者が2名ですので、微変更にしかありませんでした。国の少子高齢化同様、昭和鯨城会の先行きを考えると不安がよぎりますが、皆様の理解と協力のもと、楽しく運営できたらと思います。



今年度は事業計画に記載のとおり、コロナ禍でも実施してきた「趣味の作品展」は、もちろん、縮小実施してきた行事等も従来に近い形で実施できるものと考えています。

会員相互の親睦と、社会奉仕活動等実践による地域貢献ひいては自分のための健康増進にも繋がり、よりよい“幸”齢者になれるような活動の手助けができればと思っています。よろしく願いいたします。

## 昭和鯨城会会長の退任挨拶

31期(陶芸) 松栄 小川 賢雄

この度、令和5年度の総会で退任する事に成りました。

思えばコロナ禍の中で、他の役員と同様ですが令和2年から令和4年度に渡り第29代~31代会長を3期務める事に成りましたが、昭和鯨城会の長い歴史の中でも初めての事です。

コロナ禍の制約が多い中で、屋外行事等については極力開催の方向で進めましたが、特に「趣味の作品展」については他の鯨城会が中止した中でも三密対策を実施し、開催場所も変わりながら参加者も多く、好評の内に毎年実施しました。



特に令和4年4月に創立30周年を迎え、当初は記念式典の昼食会を盛大に実施する予定でしたがコロナ禍でままならず、

①川名公園に記念植樹、②移転建替えした昭和福社会館に絵画の寄贈、③創立30周年記念号発刊、④全会員の年会費補填(1,500円⇒1,000円)等で、形を変えて有意義な記念行事が出来たと思っています。これ等の施策は会員の方々のご協力が有ったことで、感謝いたします。今後も顧問兼総務委員として一緒に楽しくやっっていこうと思いますので、宜しくお願いします。

## 総務委員長

33期(生活A) 川原 山田 浩



山田総務委員長

よく耳にする抱負とは、こうしよう、こうしたいという決意の表れですが、既に後期高齢者である私は、能力的にも、体力的にもそんな大それた気持ちはありません。

ただ、認知症の予防とボケ防止、さらにフレイル防止のため、小川会長をはじめ高島総務、下和田ボランティア、水野行事、伏屋広報の各委員長が、コロナ禍の影響もあって、3年以上も勤められていることを見習ってやっていきたいと思っておりますので、会員の皆さんご協力の程よろしくお願ひします。



山崎総務副委員長

## 行事委員長

32期(地域A) 松栄 水野 晃



水野行事委員長

令和5年度の行事委員長水野晃です。コロナウイルスの影響で十分な活動が出来ない期間をようやく脱して昨年度は、天候不順での中止を除いて多くの行事を開催し会員の皆さんに参加していただき行事委員会としてありがたいことでした。今年度は、バラエティーに富んだ行事を企画しました。

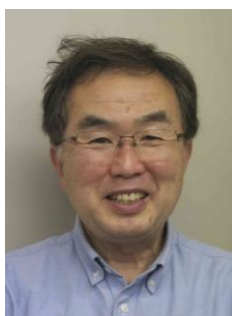
久しぶりの卒業生である34期生を迎えて新しい体制で進めてまいります。すでに、4～6月行事には多くの参加申し込みをいただいています。同じ時間・空間を共有することにより、より一層の親睦を深めていきたいと思っております。楽しく、明るい行事を進めてまいります。皆様、よろしくおねがいします。



後藤行事副委員長

## ボランティア委員長

33期(生活A) 御器所 片岡 晴彦



片岡ボランティア委員長

ボランティア委員長を務めさせていただく片岡です。宜しくお願いします。「ボランティア」は耳触りが良い言葉です。照れくさい反面、柄にもなく良いことをしてるんだよと、少し自慢したくもなります。ボランティア活動に参加することで一層社会とのつながりを感じることができます。よく言われますが、社会とつながりを持っていることは、長生きや健康に良い影響をもたらすそうです。今年度は、ここ3年間コロナで一部自粛してきたボランティア活動を存分にできるようになることでしょうか。私たちは社会貢献をする



秋山ボランティア副委員長

とともに、益々健康でいられるように期待して活動していきます。

# 広報委員長

32期(健康B) 吹上 伏屋 満



伏屋広報委員長

2020年広報委員長に就任し、4年目の今年はホームページ委員のおまけもついて留年となりました。業務は年4回のこの広報誌発行です。

3年前の就任時は折からのコロナ禍に見舞われていきなり発行を延期し、その後も会の活動停滞により2年間は年3回の発行にとどまりました。会の活動量が元通りに回復してきた去年は、30周年記念号も含めてやっと通常の年4回発行できました。今年は、回数のみならず、内

容でも充実していきたいと思えます。

最近の頭痛の種は、会の活動報告における執筆者不足です。会員数も減少する中、特定の人に偏ることなく、広くみんなの「昭和鯉城会たより」になるよう、参加者方々の積極的な執筆をお願いします。



中村広報副委員長

# 新入会員あいさつ

34期(美術B) 滝川 中山 秀治

今年、昭和鯉城会に入会しました中山秀治です。新型コロナウイルスのため、鯉城学園が2年間休校となり、4年間掛かり卒業して、やっと昭和鯉城会に入会しました。鯉城学園では、クラブ(社会研究)においては2年間のお休みがありますが、宿泊研修、日帰り研修等で仲間と充実したクラブ活動でした。専攻は美術専攻でしたが、入学当初には43名いましたが、卒業時には18名になり、約3年間は懇親会等も開催されず、修学旅行も中止になり、仲間との懇親ができなく、制作においてもあまり没頭できませんでした。

これからは、地域との関わりを深めるとともに、新たな出会いが見つかることがあればと思っています。最後に34期中27名が昭和区在中ですが、川瀬さんと私の2名だけが入会ですので、各学区で知り合いの34期生がいましたら、昭和鯉城会へ入会する勧誘をお願いします。



34期(健康A) 松栄 川瀬 月江



私は本来余り外出を好まず、家にて読書とか、料理をして一人で過ごす方が精神的に落ち着くのです。しかし、主人が他界して以来、出来る限り外出に心がけ、名古屋市に定住と共に鯉城大学に入学、そして学生会(広報)にて多くの方々の文章校正を担当しました。そこで、他者の体験と人生観の違いを痛感すると同時に、多くを学ぶことが出来ました。昭和鯉城会にて再び諸先輩方々の指導により明るく楽しい学びが得られると確信すると同時に、学び得た知識や経験を文章に表現できたら、限りない喜びです。

# 行事レポート

## 初めてのそば打ち体験

31期 (美術) 松榮 杉江恵理子

2月16日(木)午後0時45分、地下鉄桜通線久屋大通駅2番出口に集合し、徒歩5分余りで「丸の内そば道場」へ到着しました。当日は9名の参加者でした。

正式には「紗羅餐俱樂部丸の内道場」というのだそうです。中文ビルの3階なのですがエレベーターは見当たらず、やむなく一同階段を上り会場へ。エプロンとタオルを持参するように言われていましたが、タオルは使い捨てのペーパータオルが用意されており、不要でした。男性6名、女性3名は早速エプロンを着用して「道場」と称するところへ案内され、手洗い・手指消毒を済ませました。当日は指導者の先生1人と、サポートのスタッフ2



道場入口の案内



先生の麺棒扱い方を聞く

人の計3人で対応していただきました。一人一台の面打ち台の上には、直径50センチはあろうかという大きな漆塗りのボールが用意されていて、中にはそば粉と小麦粉の中力粉が入っていました。二八そばが売り物のようなので、そば粉八、小麦粉二の割合だと思われます。それに水の入った計量カップ、打ち粉用の小麦粉の入ったボール、濡れタオルが用意されていました。台下の棚には90センチの麺棒、粉を掃き集める小さい箸とちりとりなどが用意されていました。

まず、両手を交互に動かしながらそば粉と小麦粉をまんべんなく混ぜ合わせ、水を入れて両手でこねます。ぼそぼそ、がさがさだった粉が、次第になめらかでしっとりした肌触りに変わっていくのが、パン作りなどと共通しています。



伸ばす工程「丸出し」

そのようになってきたら、種を丸く整えて、いよいよ、打ち粉をした台の上に移して麺棒で伸ばしていきます。

先生の説明を最後まで聞かずに始めてしまう人、説明を聞いてもよくわからず、ほとんどかかりっきりでスタッフのサポートを受ける人、先生が次の説明を始めても自分の作業に没頭して聞いてない人・・・と、日頃冷静沉着と思っていた人の意外な側面を発見して、いっそう親しみがわきました。

行き届いたサポート

のおかげで、みな無事に5人前のそばを2時間かかって完成させることができました。

帰り道「明日は筋肉痛だ。」「やっぱり、そばはお店で食べるに限る。」などという声も聞かれましたが、それにしても満足そうな表情が印象的でした。



そば打ち後の満足気な様子

# 行事レポート

## レトロな町並み有松

29期（生活B） 広路 阪本 勝

3月15日、16名が参加して、絞りで有名な町並みを散策しました。有松駅で絞りの法被<sup>はっぴ</sup>を着たガイドの方2名（有松あないびとの会）が待っていてくださり、早速2つのグループに分かれて散策を開始。

好天に恵まれて、少し汗ばむ気温の中、旧東海道の町並みをゆっくり散策出来ました。ちょうど『福よせ雛と町歩き』イベントが行われていて、屋外のいたるところにお雛人形が飾られています。

福よせ雛とは、家庭で役目を終えた節句人形に新しい命を吹き込み、観光事業の一助にする取り組みで、SDGs目標の観点も踏まえた取り組みと、ガイドさんの説明。



福よせ雛



外塀の上に飾られたお雛様

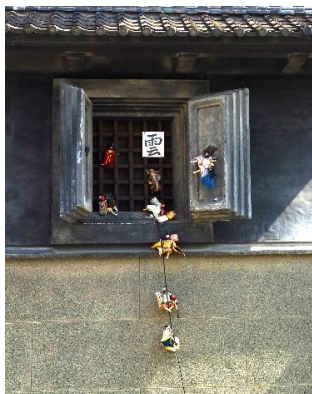
展示された人形の中には、屋根の上で団子を食べたり、雲霧仁左衛門の手下が蔵に押し入ろうとロープをよじ登っている雛人形もあり、ユーモアいっぱいの展示に感心させられました。



街並み



早春の半日を満喫出来たこのような素晴らしい行事を企画していただき、感謝しております。



有松駅にて

# 行事レポート

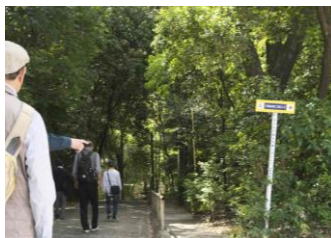
## 八事山興正寺散策

29期 (園芸) 村雲 宮地 喜好

4月14日(金)昭和鯉城会ハイキングに参加しました。参加会員14名、スタート前に全員で記念撮影、主催者挨拶のあとハイキングコースへ。

「八事山を歩こう会コース」は、興正寺公園の遊具広場を出発点として、登り・下り・段差・階段に手すりがありの楽しいコースでした。看板がNo.1~43まであり、全長約3.5キロ(約1時間)。当日は天気良く、ハイキングコースの木々のすきまから太陽光があたり、涼しい風が通りすぎ、時々小鳥のさえずりが聞こえて、気持ち良く落ち葉を踏みながらの散策ができました。

歩く速さが早い人、遅い人がいるために、途中休憩で後続の人達が来るまで小休止。



要所にあるコースの看板

1回目小休憩は、コースNo.19番の奥之院(東山本堂・不動護摩堂)。お参りができる日が5日のため、当日は駄目でした。人数確認して再出発。



まず全員で記念撮影



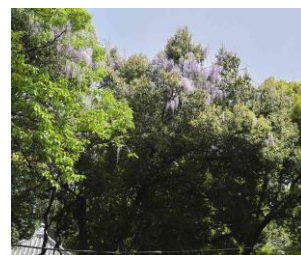
1回目休憩 奥之院



2回目休憩 大日堂

2回目は、大日堂と大日如来で休憩して全員お参り、本堂の外周1周すると12歳若返ると言われています。外周には12の干支の絵馬が掛けられています。私は自分の干支が掛けてある前でお参りしました(若返りする人はいるのかな?)。ここでは、毎年10月第3土曜日に尾張の火祭り(千燈供養会)が開催され、有名テレビ局・新聞社が取材に来るとのこと。しかし、コロナの為に3年間中止しており、今年はあるのかな?

散策コースの所々に小さな花が咲いて雑草が多くあり、名前が分からないのがあり、会員の人がスマートフォンで撮影して名前を見つけるなんかして、NHK連続テレビ小説朝ドラ(らんまん)主人公の万太郎になった気分みたいな感じで楽しかった。



境内に見られたフジの花



3回目の最終地点「遊具広場」

3回目は、最終地点で最後の人数確認、全員集合を確認して現地解散。お疲れさまでした。企画担当の皆さん、楽しい1日ありがとうございました。



# 行事レポート

## 「名古屋ウィメンズマラソン2023」ボランティアに参加して

30期（国際A）川原 眞野 晃

ことしも名古屋ウィメンズマラソンが3月12日（日曜日）に実施されました。

昭和鯉城会は会員24名がコースの管理とコース距離看板表示担当（2名）で参加しました。

集合時間午前8時に集合場所「トヨタレンタリース吹上店」前に集合し、支給されたベストを着用し、白い帽子を被り、点呼を終えてそれぞれの担当区域に別れて任務につきました。

ことしは4年ぶりの通常開催ということもあって、沿道から選手への拍手による大きな声援が送られていました。

男子ハーフマラソンも同時に実施され、おびただしい数（30,000名超）のランナーが走るのをコース担当



力走する鈴木亜由子選手

場所管理しながら任務にあたりました。

交代で休憩をとりながら12時45分の解散時間まで熱心にボランティア活動をしました。

ことしは名古屋大学出身の鈴木亜由子選手が（豊橋市時習

館高校出身）2時間21分52秒という日本勢最高の2位でゴールし、パリ五輪代表候補に近づいたことをマラソン終了後聞き、このような喜ばしい大会にボランティアとしてコース管理の役割で参加できたことを嬉しく思いました。



作業風景



コース管理風景



ウィメンズ力走風景



参加者出記念写真

# 同好会活動紹介

## 健康麻雀同好会の麻雀旅行・決算総会

31期 (陶芸) 松栄 小川 賢雄

令和4年度の決算報告を兼ねて麻雀大会・旅行・総会と盛りだくさんの行事を、目先を変えて「伊藤園箱根湯本ホテル」で宿泊実施したのでご紹介します。

4月18日(火)汗ばむ陽気の中で、小田原駅に到着し「小田原城址公園」を散策しました。当初8名の参加予定が、都合で5名と成りましたが公園内は外国人も多く、ツツジやフジが満開で良い香りがします。このフジは樹齢推定200年「御感の藤」と言われています。JR小田原駅から箱根登山鉄道に乗り換えて箱根湯本駅に到着し、ホテル群の送迎バスで到着後、通常の旅行と違うのは早速麻雀大会です。「手積み麻雀」を交代で夕食までプレイしました(A)

夕食は制限時間70分の飲み放題バイキングでお腹も満腹。部屋に戻って再度麻雀大会の続き(B)、予約時間が来て「カラオケ」を楽しみ就寝です。

19日(水)は朝食バイキング後に、最後の麻雀大会を実施(C)し、(A)～(C)の合計得点で優勝者が決まりました。チェックアウト後にロビーで令和4年度の決算報告があり、この日は小田原漁港の「漁港の駅TOTOKO小田原」へ行く事に成り、JR早川駅から歩いて行き、遅い昼食の海鮮丼を頂きました。

帰りは新幹線も「こだま」しかなく小田原駅から、のんびりと名古屋駅に着きました。



昭和鯉城会の麻雀同好会は「ビギナー麻雀同好会」と呼んでいましたが、「健康麻雀同好会」と正式に名称変更しました。また活性化の為に「西鯉城会の麻雀同好会」とコラボしています。

昭和鯉城会担当 毎月第3火曜日に昭和区滝子の名古屋市市営住宅「永金荘」の集会室  
時間は10時～16時、費用500円(昼食持参)

西鯉城会担当 毎月第1火曜日に名古屋駅西の雀荘「ウイング」時間は11時～17時、  
(代表 塚田加代子) 費用1200円(簡易な昼食付)。2回目もウイングで日にち未定。

健康麻雀同好会では、何時でも入会・見学歓迎ですからお気軽にお電話ください。  
連絡先 代表 小川賢雄 Tel 080-1615-1211

# 令和5年度 昭和鯨城会事業計画

年月	役員会・委員会 (定例会)		行事(協賛行事含む)	クリーン パートナー等	会報 発行	印刷
	日	場所				
R5年 4月 済	7日(金) 定例会	昭和生涯学習 センター3F第2 集会室	・14日(金)(昭和・行事) 八事山ハイキング(八事興正寺) ・22日(土)10:00 昭和区役所 講堂 昭和鯨城会 総会	19日(水)	----	13日(木) 9:30~ 27日(木) 9:30~
5月 済	12日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・19日(金)(昭和・行事) マジック・フラダンス・琵琶演奏(生涯学習センター)	17日(水) 主要道路清掃 学区(4拠点)	----	25日(木) 9:30~
6月	2日(金) 定例会	昭和区役所 6F 601	・14日(水)AM 社協(体験型) 37期生(2年)地域ミーティング ・17日(土)10:00~12:00 予備日24日 鶴舞公園クリーンキャンペーン ・23日(金)(昭和・行事) 富士見パノラマリゾート 入笠山	21日(水) 土鈴作り29日 (木)ライトハウス	110号	29日(木) 9:30~
7月	7日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・21日(金)(昭和・行事) 落語を楽しむ	19日(水) 土鈴27日(木)	----	27日(木) 9:30~
8月	4日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604		16日(水) 土鈴31日(木)	----	31日(木) 9:30~
9月	1日(金) 定例会	昭和区役所 6F 601	・3日(日) 「遊びの広場」昭和区役所講堂 ・15日(金)(昭和・行事) 名古屋港巡り(海上から港内見学)	20日(水)	111号	28日(木) 9:30~
10月	6日(金) 定例会	昭和区役所 6F 601	・11日(水)~14日(土) 「趣味の作品展」名古屋市市政資料館 ・中旬頃 鯨城会公開講演会 5F伏見鯨城ホール ・18日(水)10:00~13:00 グランドゴルフ交歓会 庄内緑地公園 ・予定 29日(日) 「昭和区区民祭り」鶴舞公園	18日(水)	----	31日(火) 9:30~
11月	10日(金) 定例会	未定 (昭和生涯学習セ ンター等)	・15日(水)午後又は17日(金)午前 鯨城学園 38期生(1年)地域ミーティング 各クラス ・16日(木)10:00~15:00 東スポーツセンター 16区フェスティバル ・17日(金)(昭和・行事) 小原村(四季桜と紅葉見物) ・18日(土)10:00~12:00 予備日25日 堀川清掃大作戦 ・29日(水)午後又は12/1日(金)午前 鯨城学園 37期生(2年)地域ミーティング 各クラス	15日(水) 主要道路清掃 学区(4拠点)	----	30日(木) 9:30~
12月	7日(木) 定例会	昭和区役所 6F 601	・15日(金)(昭和・行事) 堀川クルージング(朝日橋~名港)忘年会	20日(水)	112号	21日(木) 9:30~
R6年 1月	5日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・20日(土)(昭和・行事) 桜花学園高校インターアクトクラブとの交流会 ・26日(金)10:45~ 5F伏見ホール 37期生(2年生)区会説明会 ・社協30周年記念(未定)	17日(水)	----	25日(木) 9:30~
2月	2日(金) 定例会	昭和区役所 6F 601	・16日(金)(昭和・行事) 桜餅づくり ・14日(水) 16日(金)37期生鯨城会入会申込 ・予定<未定>21日(水)13:30~ 37期生入会説明会 昭和区役所604	21日(水) 主要道路清掃 学区(4拠点)	----	22日(木) 9:30~
3月	1日(金) 定例会	昭和区役所 6F 604	・7日(木)10:00~15:00 5F伏見ホール 鯨城会第14回OB文化祭 ・10日(日)名古屋ウィメンズマラソン ・15日(金)(昭和・行事) 長浜盆梅展と黒壁スクエア散策	20日(水)	113号	28日(木) 9:30~
備考	◎定例会 (役員会・委員会) 9時30分~12時00分		◎クリーンパートナー(東郊通2~御器所通) 集合9時30分(夏時間なし) 荒畑龍興寺北側の器具置き場 5月・11月・2月は主要道路清掃活動日(集合9時30分) ◎土鈴作り ライトハウス 13:00~15:00		発刊 年4回	社協 ポラ ルーム

# ボランティア報告

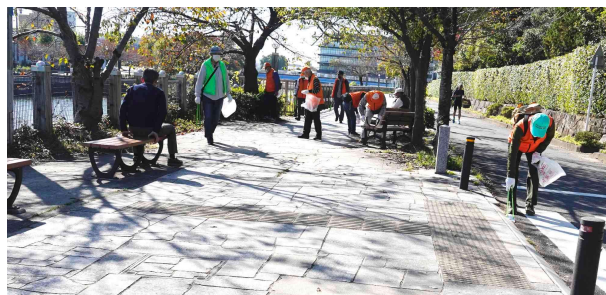
## 3年ぶりの堀川清掃大作戦

31期（文化A）川原 下和田 学

先号で報告しました2022年10月の鶴舞公園クリーンキャンペーンに引き続き、コロナ禍で2年間中断していた堀川清掃大作戦も3年ぶりに復活しました。



「堀川の環境を守る会」の皆さんと



清掃風景

当日（2022年11月5日）は秋晴れの好天気恵まれ、堀川の環境を守る会の方の先導で、堀川右岸白鳥橋から記念橋の間を往復しました。

昭和鯉城会の参加者は8名でした。

ゴミは立ち入り禁止区域に沢山ありましたが、危ないので拾うことができず歯がゆい思いをしました。



### 編集後記

本年4月には3年ぶりの会場での総会が開催でき、今年は昭和鯉城会の活動がますます活発になることを期待されます。会員数は一時的に減ってきておりますが、「昭和こじょう会便り」も更に充実するよう会員皆さまからも広く、原稿の提供をお願いします。

紙に載るものなら何でも結構ですし、不足する部分があれば広報委員でフォローします。日常の出来事や活動の紹介、随筆、絵画、写真、挿絵、習字、俳句、短歌、詩、などなど積極的な投稿をお願いします。

### 昭和鯉城会 「昭和こじょう会便り」 2023年6月110号

発行責任者 高島 善行

広報委員長 伏屋 満 副委員長 中村 誠司

広報委員 杉江 恵理子、樋口 敏幸、早瀬 芳二、川瀬 月江

表紙写真 「花菖蒲と傘の花の共演」片山 咲枝（17期 福祉）  
（令和4年5月、徳川園にて）

名古屋市高年大学鯉城学園・昭和鯉城会共同発行